

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
助産学展開論	1	前期	2	講義 30時間
担当教員	大野知代、大塚伊佐夫			
授業概要	女性のライフサイクルを通じたリプロダクティブヘルス・ライツと健康問題、及び女性と子ども、パートナー、その他の家族を対象としたエビデンスに基づくケアの改革や変革の方策を探求する。更に、助産学の専門性の深化に向けて、実践知の形成や変革に向けた活動の構造を分析的に理解する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 女性のライフサイクルを通じた性と生殖の健康と健康問題について理解する。 2. 女性と子ども、パートナーその他の家族を対象とした健康支援の基礎となる知識・理論を理解する。 3. 女性のライフサイクルに応じた健康問題やその家族を対象とした健康支援活動を理解する。 4. リプロダクティブヘルスに関連する諸外国の現状と課題について理解できる。 			
履修条件	特になし			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1	女性のライフサイクルと健康	大野	
	2	リプロダクティブヘルス・ライツの歴史的背景と概念	大野	
	3	リプロダクティブ・ヘルス/ライツとセクシャルヘルス	大野	
	4	ウィメンズヘルスと助産学実践における理論の活用	大野	
	5	プレコンセプションケアの実際	大野	
	6	暴力被害に関する女性への支援	大野	
	7	SOGIの人々への支援	大野	
	8	在留外国人への助産ケア	大野	
	9	性感染症とその予防	大野	
	10	生殖に関連する解剖生理	大塚	
	11	人体発生学	大塚	
	12	諸外国におけるリプロダクティブヘルスに関する現状と課題	大野	
	13	諸外国におけるリプロダクティブヘルスに関する現状と課題	大野	
	14	母子保健における国際活動の実際	大野	
15	母子保健における国際活動の実際	大野		
教科書	特に指定しない			
参考書	毎回の授業で、テーマに沿って提示する。			
評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する準備状況や授業中の発言・課題等の発表内容による評価(40%) ・試験・レポート課題に対する成績(60%) 			
事前・事後学習	<p>事前学習：提示された事前課題について調べて授業に臨む。</p> <p>事後学習：授業内容を振り返り、提示された課題について考察し、レポートを提出する。</p>			
備考	特になし			